

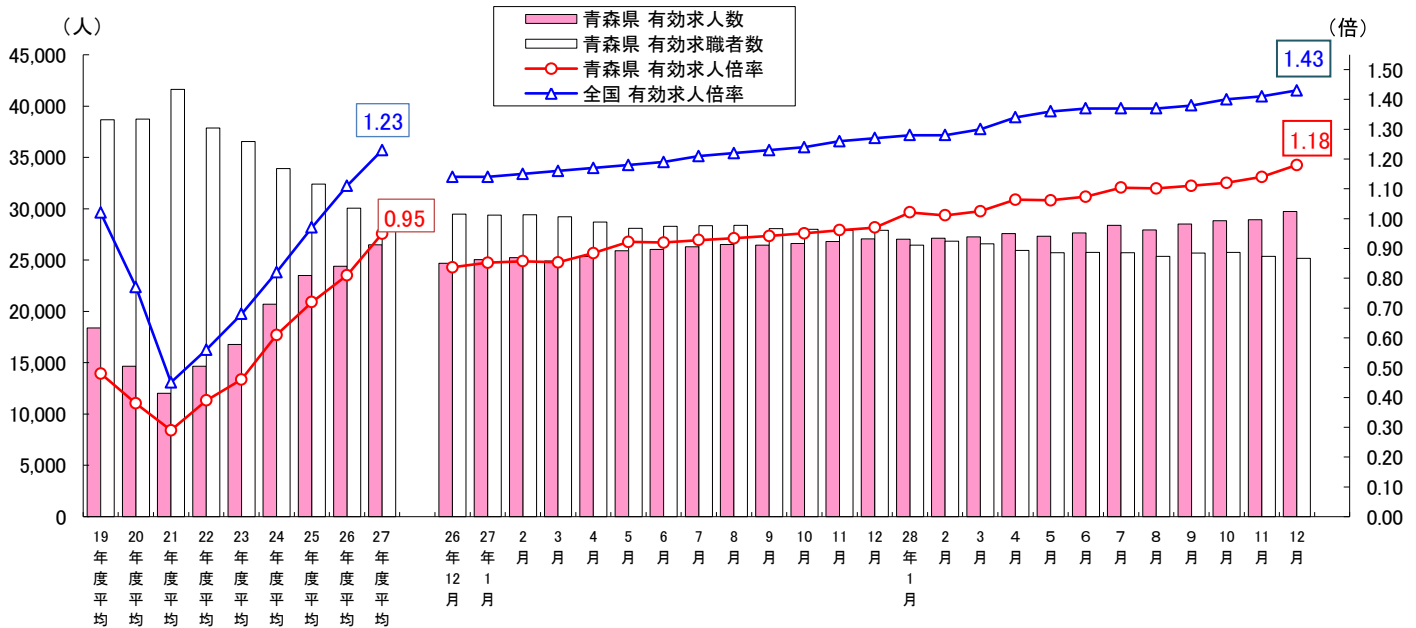
最近の雇用情勢について

(平成28年12月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

12月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.8%増加の29,734人、有効求職者数(同)は0.7%減少の25,179人で、有効求人倍率(同)は1.18倍となり、前月を0.04ポイント上回った。

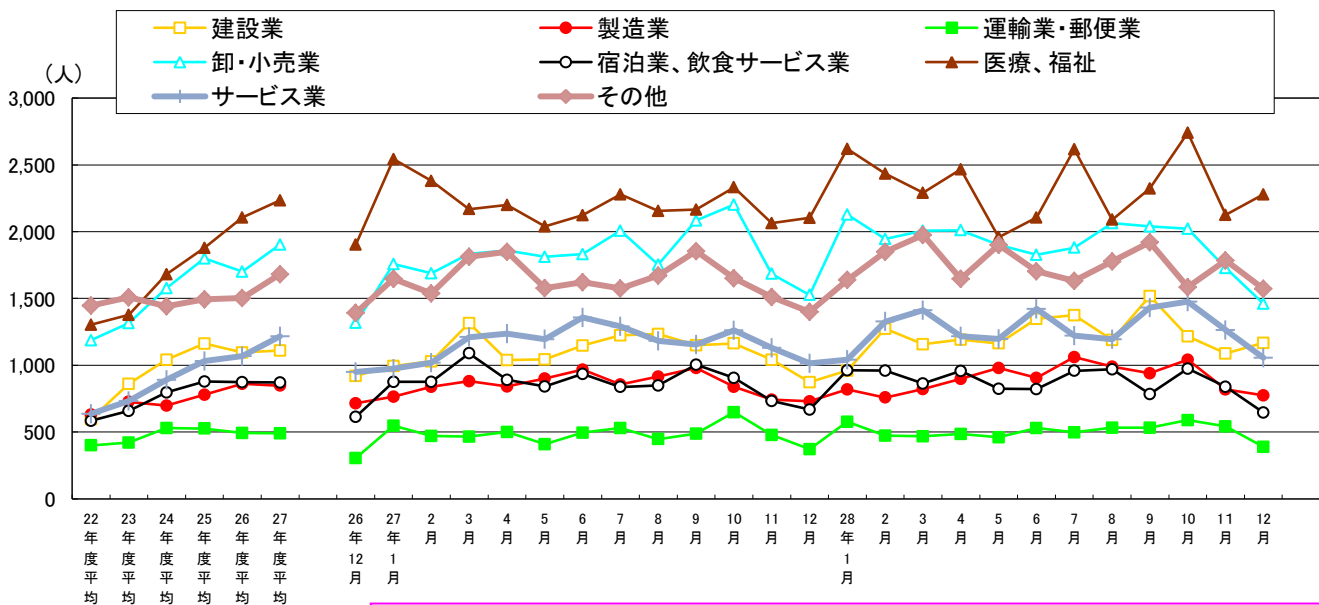


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

12月の新規求人数(原数値)は前年同月比7.5%(655人)増加、前月比8.5%(846人)減少の9,347人。

産業別で前年同月と比較すると、農、林、漁業、建設業、製造業、情報通信業、運輸、郵便業、生活関連サービス、娯楽業、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業等で増加し、電気・ガス・水道業、卸売・小売業、金融・保険業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊、飲食サービス業等で減少した。製造業では、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、木材・木製品、家具・装備品製造業、業務用機器製造業等で減少した。



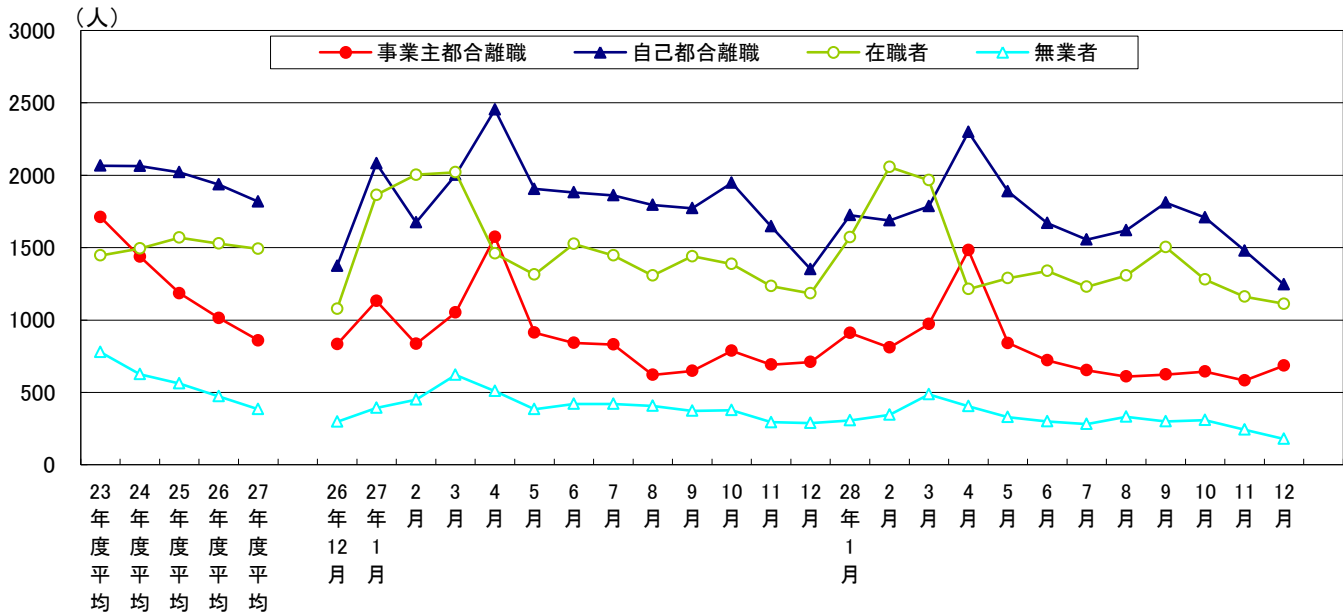
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

12月の新規求職者数は、前年同月比9.1% (331人)減少、前月比7.4% (261人)減少の3,288人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は6.1% (72人)減少し、離職者は6.9% (149人)減少、無業者は38.1% (110人)の減少となった。

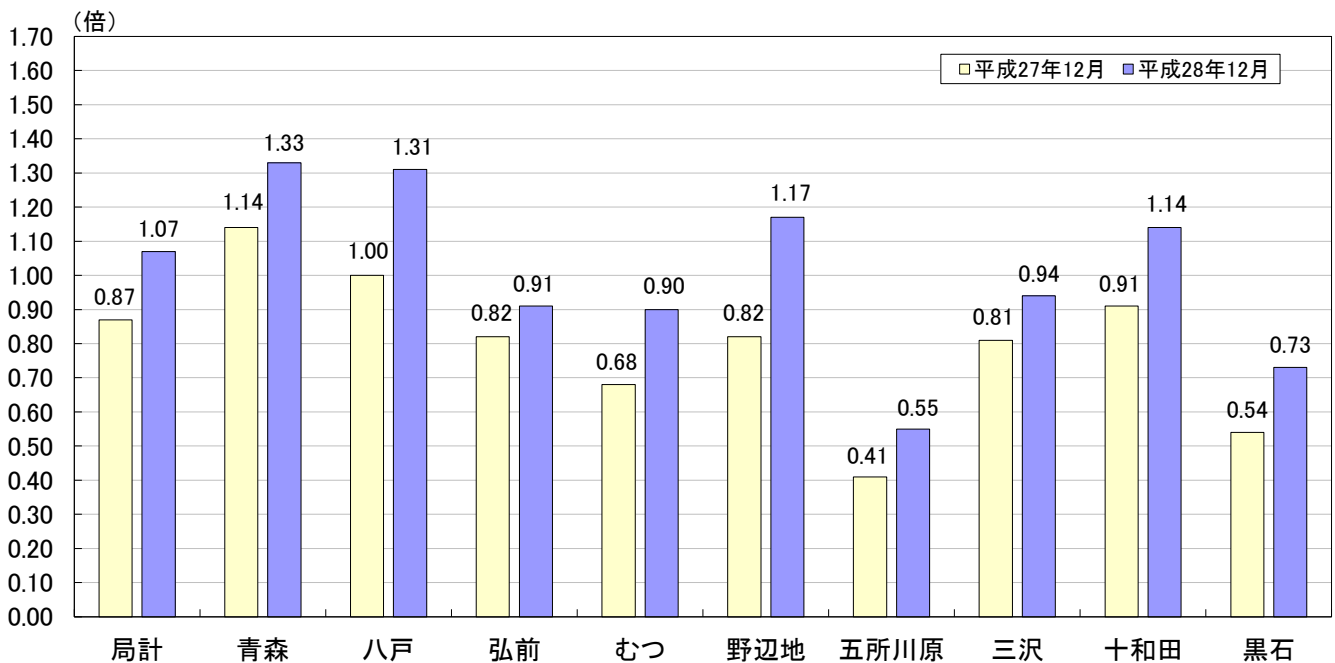
離職理由でみると、事業主都合は3.5% (25人)の減少、自己都合は7.8% (106人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

12月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.07倍となり、前年同月を0.20ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

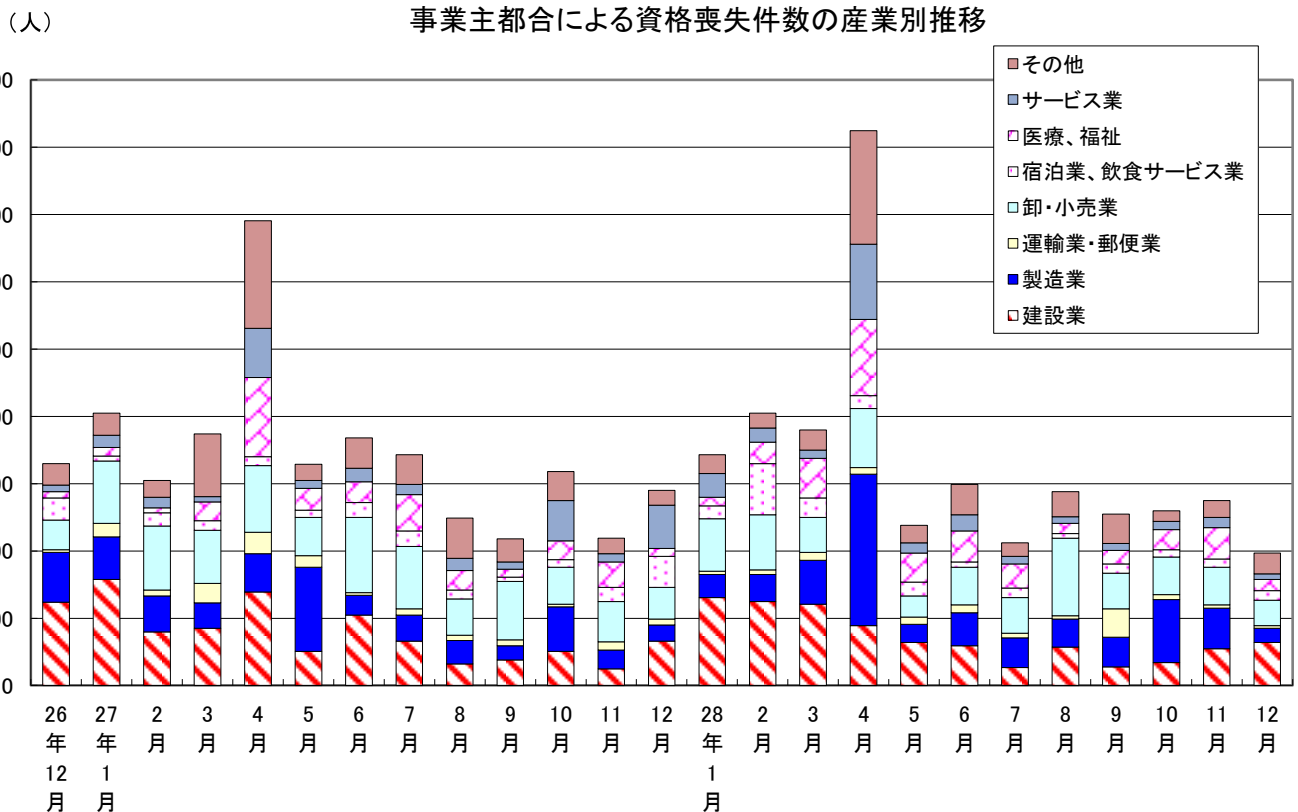
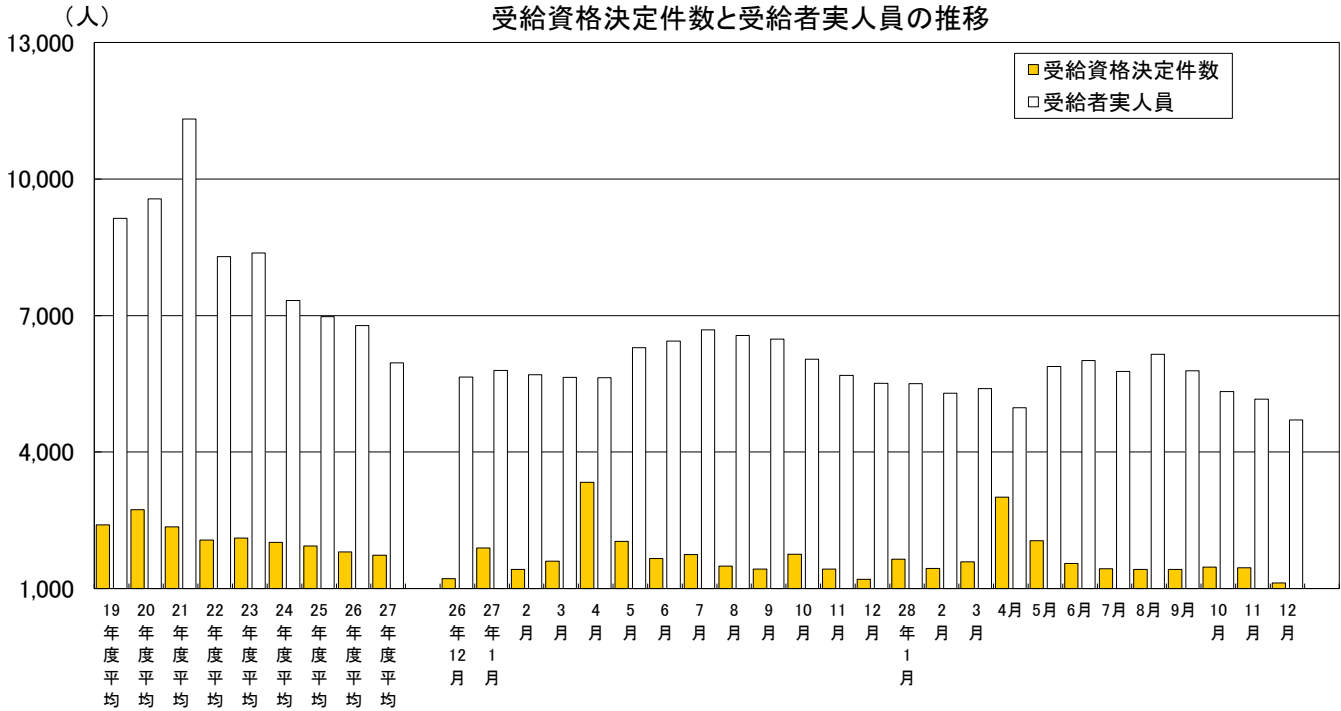


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	25,282	6,429	5,195	4,760	1,420	988	2,526	1,390	1,181	1,393
有効求人数	27,165	8,533	6,817	4,316	1,285	1,152	1,401	1,306	1,342	1,013

V 雇用保険の状況

12月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比14.6%（807人）減少、前月比では8.9%（462人）減少の4,704人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比6.8%（82件）減少、前月よりも22.9%（333件）減少し、1,123件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比32.1%（93人）減少、前月比28.4%（78人）減少の197人となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。